

大阪の福祉を知るみんなの情報誌

# ウェルおおさか

vol. 151

2024年8月号

隔月発行(偶数月1日)

特集

## もっと知りたいパラスポーツ ～パリパラリンピックに注目～

- 図書・資料閲覧室からのお知らせ
- 講座案内



# もっと知りたいパラスポーツ

## ～パリパラリンピックに注目～

世界最高峰のパラスポーツ大会「パラリンピック」が、間もなくパリで始まります。パラリンピックのアスリートたちの多くは、予期せぬ何らかの困難に見舞われ、絶望の淵から這い上がり、自らが厳しい鍛錬を重ねパラリンピックという大舞台にたどり着いています。そういったアスリートたちのエピソードを知ること、彼ら彼女らの輝きが一段と輝きを増すことでしょう。義足を駆使し、オリンピックより優れた記録を出す陸上選手や、車いすでぶつかり合う「車いすバスケットボール」にも注目が集まります。8月28日から9月8日までの12日間、パラリンピックを、存分に知る機会にしてみませんか。



### 時代とともに身近になる パラスポーツを知る機会

今から60年前、1964年に行われたのが日本のパラスポーツの幕開けとなったといわれる東京パラリンピックでした。そこから障がい者スポーツの注目度が高まり、10年後の1974年に日本初の障がい者スポーツセンターとして、大阪市身体障害者スポーツセンター（現・長居障がい者スポーツセンター）が開設。以降、障がい者スポーツの普及活動が続けられ今年で50年の節目を迎えます。今や障がいのある方にとってのスポーツは医学的にも欠かせないものと認識されるだけでなく、高齢者の急増とともにその老化予防や闘病からの回復におけるリハビリの環境としての重要度も高まるばかりです。

また誰も取り残さないインクルーシブな社会という観点からも「障がい者スポーツも同じスポーツ」との認識は高まり、障がいの有無に関わらず、一人ひとりの身体の状態に合わせてルールや道具を工夫して、みんなが平等にプレイできるようにした「アダプテッドスポーツ」も広まりつつあります。

### 困難を乗り越えたアスリートが、 想像をはるかに超える力を発揮!

パラリンピックでは、さまざまな障がいのあるアスリートが行う競技で公平さを期すために、そのルールにはでき

る限りの配慮がなされています。そのため種目やクラスに加え、団体スポーツの中でも出場選手は階級でプレー内容が決められるなど細分化されています。パリパラリンピックでは、22競技に対してメダル種目数は549種目あり、パリオリンピックが32競技329種目なのと比較

してもその多さが分かります。競技はすべて障がいのある選手に合わせたルールで行われ、車いすに乗って行われる競技や「ボッチャ」「ブラインドフットボール」「ゴールボール」など、パラスポーツでしか見られない競技を知る機会にもなることでしょう。

### パラスポーツの独自種目など、見どころをピックアップ

パラスポーツの場合、出場選手の障がいの重さによって身体を動かせる範囲などが変わってきます。その影響が出る競技においては、団体スポーツの中でも選手ごとに障がいの重さによって階級が分けられ、行うことができるプレー内容が決められています。そんなところに注目してみても、パラスポーツの奥深さを知ることができるかもしれません。

#### ブラインドフットボール アイマスクをした選手が、 スーパープレーを続出!



視覚障がい（男子、全盲）のプレーヤー4人がアイマスクを装着。転がると音の鳴るボールをパスなどでゴールへ運ぶ。味方にゴール位置を伝える「ガイド」、晴眼者や弱視者が「ゴールキーパー」を務め、ベンチにいる「監督」の声を聞きながらプレーする。

#### ボッチャ

#### 戦略を練りながら進める球技 投球精度が勝敗を左右する!



最初にジャックボール（白い目標球）を投げ、対戦する両者が赤と青の6球を投げ合い自分の球をよりジャックボールに近づけた方の勝利となる。手で投げるができない選手は、サポートを受けながら投球補助具を使ってボールを転がしたり、キックでボールを動かせる。

# 障がい者スポーツを支えて50年 楽しみ、笑い、輝く機会を届ける

## 社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会

障がい者スポーツ振興部

スポーツ振興室 主任 福嶋 尊史さん



大阪市身体障害者スポーツセンター（現・大阪市長居障がい者スポーツセンター）が、全国初の障がい者スポーツセンターとして開設されてから50周年を迎えました。パラリンピックや、パラスポーツの普及もあって、障がいのある方へのスポーツが重要であるという認識は広まりつつあり、同センターの利用者もコロナ禍を除けば増加傾向にあります。ただ、健常者に比べるとまだ、スポーツの実施率は低いといえます。現状について、福嶋さんは「長居と舞洲の障がい者スポーツセンターでは、さまざまなスポーツの教室やクラブ活動への参加者を募るなど、周知・広報活動を進めています。ただ、まだセンター自体をご存じない障がい者の方もおられると聞きます。さらなる努力をしなければと考えているところです」「また、各区が自立して障がい者などを対象にしたスポーツ参加への取り組みを推進できる仕組み作りを、区役所や社会福祉協議会、スポーツ推進委員などと連携しながら進めているところです」と語りました。

### 各区が自立してスポーツを支援する取り組みを支える

障がい者スポーツ振興部では、障がいのある人が身近な公共施設でスポーツに親しめる機会を提供する「障がい者スポーツレクリエーションひろば」という取り組みを実施しています。今回は住吉公園体育館で行われた、住之江区内の2つの福祉施設の合計約30名が参加する活動を見学させていただきました。さまざまな障がいのある方々が一堂に会し、フィンランドのゲームから生まれた競技「モルック」をアレンジしたスポーツを楽しみました。福嶋さんら障が

い者スポーツ振興部の方に加えて、各区のスポーツ振興に取り組むスポーツ推進委員や社会福祉協議会の職員も運営に協力。参加者の多くは障がいのあった人でしたが、推進委員たちのサポートもあって、皆さんが笑顔いっぱい楽しむ姿がありました。

福嶋さんは「大阪市各区単位で、参加する施設などを募り、『障がい者スポーツレクリエーションひろば』を実施しています。その中でスポーツ推進委員との連携は大切です。開催場所等が決まったら推進委員さんに声かけし都合の良い方に協力いただく形が多いです」と話します。毎回、実施する内容は、参加する方々の希望や障がいの特徴・特性などを勘案しながら考え、限られた実施時間でできるメニューを決めて行っているとのこと。

「今回も、“モルック”で使う道具は、スポンジやペットボトル、カラーテープなどで使いやすい形状に変えながら手づくりし、障がいのある方でも簡単に楽しめるものにしました。予算も限られている中で工夫しながら、楽しんでもらう時間を作れたらと考えています」と福嶋さん。

「普段は作業所などの狭くない施設で

作業等をされている皆さんにとっては、体育館などの広い場所で身体に負担にならない程度のスポーツ活動に参加できる機会です。気分転換して、参加して楽しかったと思っていただき、スポーツに少しでも積極的にかかわってもらえるようになれば健康促進にもつながります」。

### パラスポーツの楽しさを体験できる機会を増やしたい

今後については、「障がいのある人が、スポーツを生活の一部にできるように、私たちが行っている活動を定着拡大する取り組みを進めて行きます」「すべての活動において、スポーツが苦手な人でも取り組めるようなメニューや得意なことを発揮できるようなことを組み入れながら、一人ひとりが輝ける時間になればと考えています」と福嶋さん。障がい者スポーツ振興部では各区が自立した活動を積極的に行えるように、学校の先生向けのパラスポーツ体験会、スポーツ団体との意見交換会なども実施。今後は、地域でパラスポーツを指導できる人材を育成するための講習会も開催する予定です。



▲「障がい者スポーツ・レクリエーション広場」の活動の様子

# ルールは参加者に合わせて決める! アダプテッド・スポーツの魅力とは

## 大阪体育大学アダプテッド・スポーツ部

大阪体育大学教育学部准教授 アダプテッド・スポーツ部監督 曾根 裕二さん

大阪体育大学のアダプテッド・スポーツ部の活動を見学させていただき、監督の曾根さんと部員の方々に、お話をうかがいました。同部はパラスポーツの全国大会では強豪の一角を占め、パリ・パラリンピックの出場内定者も輩出しています。

「私が2011年に本学に赴任した頃は、『車いすハンドボール同好会』として活動していました」と曾根さん。監督を引き受けて活動を続けるうちに、「卒業後は教育現場に出る学生が多いので、車いすハンドボールという競技に限らず、さまざまなパラスポーツ競技を経験し、あらゆる立場の人に心を寄せる力を育てほしい」という思いを強くされます。そこで、曾根さんは「アダプテッド・スポーツ同好会」に名称を変えることを提案。2020年頃に活動実績が認められて「アダプテッド・スポーツ部」になったそうです。

### アダプテッド・スポーツと パラスポーツの違い

パラスポーツはパラリンピックなどで行われる、障がいのある人が取り組んでいるスポーツで、ルールが整備されています。一方、アダプテッド・スポーツは、障がいの有無に関わらず、プレー

ヤーに合わせてルールを適応させるスポーツのことです。例えば、障がいのある人が参加する場合などは、つかみやすいボールに変えたり、参加しやすいルールに変えるなどの工夫をします。同部でもパラスポーツの試合などに向けた練習を行っていますが、地域との交流などで障がいのある参加者と一緒に活動する場合には、参加する方に合わせた(アダプトした)ルールをつくりながら、全員が楽しめるスポーツとして取り組んでいます。

### 支援を必要としている人に 寄り添う力が、部活動を通して 身につけば

部員は主に障がいのないの学生で、将来は教員や福祉関係、警察官、スポーツトレーナーなどをめざす人が多いとのこと。「車いすを使って行うスポーツ」という新しいものに挑戦してみたいと体験に訪れ、楽しさを知って入部する学生も多いそうです。

「アダプテッド・スポーツを通して、地域で暮らす、なんらかの支援を必要とする方々に寄り添えるスタンスが身につけばと思います」と曾根さん。「警察官になった卒業生のエピソードで、言葉

がうまく話せない障がいを持った方に接した警察官の先輩が“対応が難しい”と困っていた時に、サッと寄り添って対応できたとか、交番に聴覚障がいの方が来た時の対応に自信が持てずに手話を習い始めた卒業生がいます。そういったことができるのは、この部活での経験が活きているのかも知れませんが」と話しました。



▲後列に監督の曾根裕二さん。前列左から4年の安楽拓真さん、3年の池尻光輝さん、高村梨麗さん、金丸光里さん

### 部員のみなさんの声

#### 【アダプテッド・スポーツ部に興味を持ったきっかけは?】

- 先輩に誘われて体験に来て、車いすに乗ってスポーツできる楽しさを知りました。曲げたり止めたり、難しい部分もありますが、そこをやりがいにも感じています。(安楽さん)
- 肢体不自由の兄がおり、特別支援に興味がありました。車いすを使うパラスポーツをやっていると聞いて、体験に来ました。教職などに興味があり、教える側としても、この楽しいスポーツを体験することは大いに役立つと思って入部しました。(高村さん)

#### 【障がいを持つ方との活動はどのように行っていますか?】

- 車いすハンドボールでは、ゴールを決めた後のリスタートを健常者だけで行う時よりも遅らせて、中央に戻ってから始めます。支援が必要な方でも一緒にできるのがアダプテッド・スポーツだと思っているので協力し合っています。(安楽さん)
- 支援の必要な方が受け取れる範囲を考えて、パスを出します。私がいかが目標に投げるといった技術の向上にもつながりますし、パスが通れば相手の方もスポーツの楽しさを味わってもらえるので、そこは大切にしています。(金丸さん)

#### 【教職をめざすうえで役立つ部分はありますか?】

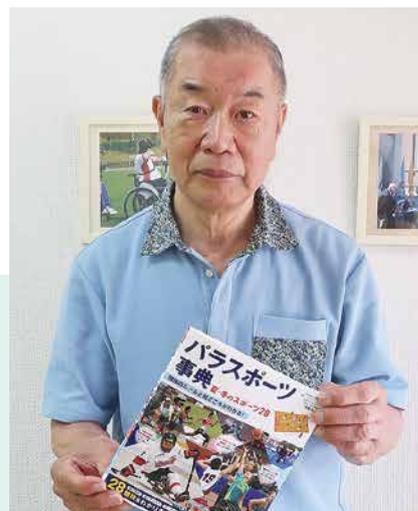
- 児童や学生には車いすに乗っている人や、難聴など何かしらの支援が必要な人もたくさんいます。そういった人との交流や、車いすを使ったスポーツを体験するという機会を持つことは、とても貴重でありがたいと感じています。(池尻さん)

# スポーツ基本法で理解が進んだ、 障がい者スポーツの重要性

NPO法人アダプテッドスポーツ・サポートセンター Founder

大阪体育大学 客員教授 高橋 明さん

大阪市長居障がい者スポーツセンター、舞洲障がい者スポーツセンター、大阪市障害者・福祉スポーツ協会障がい者スポーツ振興部に38年間勤務。計5回の冬季・夏季パラリンピックに日本選手団の監督やコーチとして参加。現在、大阪体育大学客員教授等で講師を務めながら、講演活動を全国で展開。さまざまな障がい者スポーツ団体の役職を担う。座右の銘は、パラリンピック創始者の言葉「失った機能を数えるな、残った機能を最大限に活かせ」。



全国初となる「大阪市身体障害者スポーツセンター」(現・大阪市長居障がい者スポーツセンター)が、1974年に開設された当時から勤務されていた高橋さん。「初めてなので思い切ってやれた面もあります。障がいのある人が“いつでも使える”“家族や友だちとも一緒に使える”など、『スポーツを気軽に楽しめる施設を』と取り組んで来ました」。自由度の高い開かれた同センターの発展に、38年間にわたって尽力されました。

## いつでも気軽に、障がい者がスポーツを楽しめる施設を

「日本のスポーツの“施設”の状況は、世界に比べて遅れています。学校の体育館や地域のスポーツセンターでも団体貸しが多い。だから、障がいのある人が、スポーツを思い立った時に気軽にできる施設をつくりたいと思ったんです」と高橋さん。

1974年に障がい者スポーツの普及の活動に取り組み始めてから50年になる、現在の状況についてお聞きしました。「公共のスポーツ施設の設備などのハード面は、障がいのある人にも対応できる場所が増えました。ただ、ソフト面がまだまだかなと感じています」「例えば、今でも片腕や片脚を失った障がい者を見ると、その部分をついてしまい、“こういうことはできないだろうな”という発想になる人がいる。そうじゃなくて“こんな工夫をすれば、こんなことができるんじゃない?”ということを話せるようになってほしい」。

## できることを想像し、 できるための工夫や ルールを創造する

そのためには「想像力と創造力」が必要と高橋さん。片腕がなくても、こんなことをできるんじゃないかと想像してみる。こんな工夫をすればできると考え、その道具などを創造する。まず、指導者がそれを見つけ出すことが大切で、そういう工夫をして「できる喜びや楽しさ」を障がい者が体感すれば、可能性がどんどん広がっていくと語りました。

また「その力は日常から育める。車いすで動くには、“街なかに段差が多い”“違法駐車や駐輪が多い”など、不便を想像する力があれば解消できる社会の問題はまだ多い。そういった課題を解決していけば、障がいのある人が何の不安もなく生活できる社会につながっていく」と指摘します。

高橋さんは、障がい者が参加するために壁になっているルールを変え、障がいのある人に合わせることで、健常者とも一緒に楽しめる「アダプテッド・スポーツ」を普及する活動にも取り組んでいます。

「2011年に『スポーツ基本法』が施行されました。その基本理念の中に、“スポーツは障がい者が自主的かつ積極的にスポーツを行うことができるよう、必要な配慮をして推進されなければならない”という趣旨の文言が入ったことが大きい」と高橋さん。同法の施行と、2年後に2度目の東京オリンピ

ク・パラリンピックの招致に成功したことで、「障がい者のスポーツも同じスポーツ」という考え方が理解されるようになってきたとのこと。

「スポーツそのものが体格、体力、年齢、性別、技術等によってルールを工夫してやっている。バレーボールのネットの高さは身長が異なる中学と高校では違う。子どものスポーツと大人のスポーツでも少しずつルールが違う。障がい者のスポーツも特殊なスポーツではないんです。身体的な特徴・特性によってみんな不便さが違うから、ルールを合わせることでみんなが楽しめるようになる」と高橋さん。

## パリパラリンピックを見て、 障がい者の可能性を知ろう

シドニーパラリンピックで車いすバスケットボール全日本総監督を務めた経験を持つ高橋さんは、8月28日から始まるパリパラリンピックについて「ぜひテレビなどで実際に見て、“この選手はなぜその障がいを受傷したのか。それをどう乗り越えてきたのか”といった情報にも触れてほしい。例えば、車いすの選手の多くは交通事故に遭い、足を切断せざるを得なくなった時に耐えがたい絶望を経験し、そこから想像を絶する努力を重ねてプレーをしていることを考えてみてください。障がい者に広がる無限の可能性と、パラスポーツの奥深さが分かってもらえると思います」と、言葉に力を込めました。

## 新たな人材「アシスタントワーカー」

### アシスタントワーカーとは？

介護施設等において掃除や食事の片付け、洗濯、物品の補充等、直接介助に携わらない業務を担当する“介護職場の人材”です。

### アシスタントワーカー受入れに向けた研修が始まりました。

6月には各施設に専門のアドバイザーが訪問し、現在の進捗や困りごとについて共有しました。新しい取り組みを導入するにあたり、ゴール(目的)を決めることはとても重要です。

「今回の事業に取り組む1番の目的は何ですか?」というアドバイザーの質問に対しては、「もっとマネジメントの時間を確保したい」「自分達の仕事を見直して、業務改善したい」「利用者さんの変化にもっと気付けるよう

になりたい」等、前向きな声がたくさん聞かれました。

各施設それぞれ課題は違いますが、足並みを揃えた、良いスタートが切れました！これからは、福祉・介護の仕事が未経験の方でも、安心してアシスタントワーカーとして勤務ができるように『業務マニュアル』の作成に向けて取り組みます。より良い職場環境づくりに向け、引き続き一緒に頑張りましょう。

### 訪問の様子



#### 社会福祉法人 幸聖福祉会

#### 特別養護老人ホーム 藤ミレニアム

〒531-0073  
大阪市北区  
本庄西2-6-15  
☎06-6371-6233



#### 社会福祉法人 大阪自彊館

#### 障害者支援施設 エフォール

〒533-0023  
大阪市東淀川区  
東淡路1-4-49  
メゾン リベルテ  
☎06-6325-3315



#### 社会福祉法人 嘉誠会

#### 特別養護老人ホーム ヴァンサンク東住吉

〒546-0013  
大阪市東住吉区  
湯里5-13-5  
☎06-6760-7011



### アドバイザー紹介 (アドバイザーは昨年度に引き続き、柴垣竹生先生です。)



株式会社エクセレントケアシステム 執行役員 人材開発部 部長  
公益財団法人介護労働安定センター 雇用管理・人材育成コンサルタント **柴垣 竹生氏**

大手生命保険会社勤務後、1999年に介護業界に転じ、上場企業および社会福祉法人において数々の要職を歴任。公益財団法人介護労働安定センターを中心に、介護事業マネジメントに関するコンサルティング・講演の実績多数。兵庫県立大学大学院(MBA)非常勤講師も務める。近著に『老いに優れる』『介護現場をイキイキさせるマネジメント術』がある。

### お知らせ

ウェルおおさか10月号(2024年10月1日発行)の特集テーマは

『新たな人材 アシスタントワーカー』です。

現在市内15施設で活躍中のアシスタントワーカーさんへ取材を行っています。発行をお楽しみに！



▲アシスタントワーカーさん 勤務の様子(一部)

## 乳幼児健診、学校健診とこどもの病気

- ①成長曲線でみつける内分泌疾患 小児代謝内分泌・腎臓内科部長 森 潤  
 プログラム ②生涯検尿でみつけるこどもの病気 小児代謝内分泌・腎臓内科担当部長 藤丸 季可  
 ③学校健診で診断される不整脈 小児循環器・不整脈内科担当部長 鈴木 嗣敏

視聴期間 8月16日(金) 12:00～8月30日(金) 12:00まで

- 視聴方法 ①病院のホームページへアクセス  
 ②右のQRコードからアクセス  
 ③下記視聴用URLを直接入力でも可能です  
<http://onl.tw/qDdEWP8>



★市民の皆さまに向けた講演です。視聴は無料です。ふるってご視聴ください★

問合せ

大阪市立総合医療センター 地域医療連携センター  
 〒534-0021 大阪市都島区都島本通2-13-22 ☎06-6929-1221(代表)

### ひきこもり家族教室 予約制

大阪市こころの健康センターではひきこもり状態にある方のご家族を対象に家族教室を実施します。同じ立場の家族同士で、当事者への関わり方について学んでみませんか？

- 対象▶ひきこもりの問題に悩むご家族  
 (本人・家族のいずれかが大阪市在住)  
 日時▶毎月 第3火曜日 14:00～16:00  
 内容▶家族の対応について学ぶ講義・グループワークを行います。  
 (内容は回によって異なります)  
 定員▶各回20名(事前申込制)  
 ※参加前に個別に面談させていただくことがあります。

問合せ

大阪市こころの健康センター ☎06-6922-8520 ☎06-6922-8526 (平日9:00～17:30)

### ひきこもり専門相談 予約制

月1回、専門の医師が対応について助言します。ご家族や支援者の相談もお受けしています。お気軽にお問い合わせください。

#### ひきこもりLINE相談

- 対象▶ひきこもりの問題に悩むご本人やご家族等  
 週2回、LINEによる相談を実施しています。  
 QRコードを読み取り、お友達登録のうえご利用ください。



#### ひきこもり支援コーディネーターによる相談

- ☎06-6923-0090(専用電話)  
 受付:月～金曜日 10:00～17:00(祝日・年末年始を除く)  
 必要に応じて面接での相談も行っております。  
 家族教室や専門相談のご予約もこちらへお電話ください。

## 大阪市立十三市民病院〈市民向け健康セミナー〉

参加費  
無料

### いきいき健康セミナー 開催予定

- 8/20(火) 認知症のケア 病院とオレンジチームの関わり 看護部副部長 江口 啓子  
 9/17(火) 日常の傷(きず)のケアを見直そう きれいに治すために 皮膚・排泄ケア認定看護師 奥田 典代  
 場所▶大阪市立十三市民病院 9Fすかいルーム  
 時間▶14:00～15:00 注意事項▶申込不要・マスク着用

問合せ

大阪市立十三市民病院 地域医療連携室  
 〒532-0034 大阪市淀川区野中北2-12-27 ☎06-6150-8000(代表)



# 講座案内

## ●市民向け講座

市内在住、在勤、在学の方

講座名	日時	受講対象者	講師	内容	その他
介護実習講座 【入門コース】	【水曜日クラス】 9月4日・11日・18日 10:00～12:00 【土曜日クラス】 10月5日・12日・19日 14:00～16:00	大阪市内に在住・在勤・ 在学の方で、高齢者の介 護に関心があり、指定さ れた日程を休まず受講 できる方 ※現在介護のお仕事を されている方は、ご受 講いただけません	介護福祉士	初めて介護される方を対象に、家庭で の介護の知識や技術を体験いただい て、介護への関心や理解を深めます。 【テーマ】 ①移動、車いすの使い方 ②着脱介助 ③清潔介護	定員：各クラス 20人(先着順) 受講料：500円(資料代) 受講初日に現金で申し受けます  入門コース修了後にテーマ別 コースが申込みできます

## ●福祉従事者向け研修

申込み多数の場合は抽選です。締め切り後に、事業所あてに決定通知を送付します。

研修名	日時	受講対象者	講師	内容	その他
介護職員研修 【アクティビティ】	9月3日(火) 10:00～16:00	大阪市内の福祉 施設・事業所に勤 務する職員	特定非営利活動法人 キャンピズ 代表理事 桃山学院大学 兼任講師 水流 寛二	介護援助技術のひとつとして「アクティビ ティ」の考え方を取り入れ、利用者の喜びや 生きがい、安心感に繋げられるような援助 方法を楽しむ演習を交えながら学びます。	定員：30人 締切：8月13日(火) 受講料：3,000円
福祉職員の メンタルヘルス研修 【アンガーマネジメント を学ぶ】	9月3日(火) 14:30～16:30	大阪市内の福祉 施設・事業所に勤 務する職員	社会福祉法人ライフ サポート協会 障がい 事業課 課長 一般社団法人日本アン ガーマネジメント協会 ファシリテーター 上田 治彦	セルフケアの手法の1つであるアン ガーマネジメントについて理解し、良 好な人間関係を保持しながら業務を 遂行する知識や技術を学ぶことによ り、バーンアウト(燃え尽き症候群)を 予防して、自分自身及び職場のメンタ ルヘルス向上を目指します。	定員：36人 締切：8月5日(月) 受講料：1,500円 会場：大阪府教育会館 たかつガーデン 8階 たかつ西
パワーポイントDE プレゼンテーション研修	【パワーポイント編】 9月6日(金) 10:00～16:30 【プレゼンテーション編】 9月13日(金) 10:00～16:30	大阪市内の福祉 施設・事務所に勤 務する職員	京都光華女子大学 短期大学部 教授 森際 孝司	パワーポイントの基本操作、効果的な 資料の作り方、プレゼンテーションの テクニックを学び、自分の伝えたい情 報を「効率よく・正確に」相手に届ける スキルの向上を目指します。	定員：各30人 締切：8月13日(火) 受講料：各3,000円
精神障がいのある人と 家族への支援実践講座	9月10日(火) 10:00～16:30 10月 7日(月) 11月11日(月) 12月 9日(月) 13:30～16:30	大阪市内の福祉 施設・事業所に勤 務する職員	武庫川女子大学 専任講師 清水 由香 ゲストスピーカー	精神障がいのある人とその家族の支 援をしていくうえで必要なストレング ス視点に基づく基礎理論と技術を学 びます。	定員：20人 締切：8月20日(火) 受講料：7,500円
福祉主任・リーダー・ 管理職員のためのより 良い職場づくりと職員の メンタルサポート	9月27日(金) 10:00～16:30	大阪市内の福祉 施設・事業所に勤 務する主任・リー ダー・管理職員	フェリアン 副所長 津村 薫	職場でのメンタルヘルスケア対策におい て、直属の上司など管理監督者が、部下 のいつもとは違うという異変にいちは やく気づいて、個別指導、面談、職場環境 の改善をすることにより、ストレスの軽減等 に適切に対応する方法を学びます。	定員：36人 締切：8月26日(月) 受講料：3,000円
財務管理研修	【入門編】 10月 9日(水) 10:00～16:30 【基礎編】 10月16日(水) 10:00～16:30	【入門編】 大阪市内の福祉施 設・事業所の経理実 務担当者で会計を 初めて学ぶ職員 【基礎編】 大阪市内の社会福祉 法人の財務担当者	シェア税理士法人 社員税理士 林 竜弘	入門編では、貸借対照表の見方、資金 収支計算と支払資金についてや、事業 活動計算と損益計算の考え方等を学 びます。 基礎編では、財務分析や予算と事業活 動計算の関係等について学びます。	【入門編】 締切：9月13日(金) 受講料：3,000円+ テキスト代700円 【基礎編】 締切：9月13日(金) 受講料：3,000円 ※定員は各30名
発達障がいの 理解と支援 (成人支援者向け)	10月23日(水) 14:00～16:30	大阪市内の福祉 施設・事務所に勤 務する職員	合同会社オフィスぼん bonワークス豊中 管理者・サービス管理 責任者 讓田 和芳	発達障がいの全体的な知識として、行動特性 や認知特性を知ること、実践の中で活かせ る支援方法などを学びます。特に成人期の発 達障がい者支援に携わる支援者にとって、何 が必要で何が不要なのか等、具体的な知識 や支援方法を身につけることを目指します。	定員：36人 締切：9月18日(水) 受講料：1,500円
福祉職員 キャリアパス対応 生涯研修課程 【中堅職員コース】	11月15日(金) 12月 9日(月) 12月20日(金) 10:00～17:00	大阪市内の福祉 施設・事業所に勤 務する、入職後概 ね3年～5年程度 の職員	関西学院短期大学 准教授 立花 直樹 四天王寺大学 准教授 吉田 祐一郎	担当業務を自立的に遂行し、後輩職員 への指導・支援が期待される中堅職員 として、求められる役割やキャリアアッ プの方向を学びます。	定員：45人 締切：9月30日(月) 受講料：9,000円+ テキスト代1,000円

★日程及び締切日は、主催者の都合で変更する場合があります。

研修の申込み方法▶当センターのホームページから申込むか、申込用紙をダウンロードしてFAXでお申込みください  
市民向け講座のみ電話でも受け付けます

申込・問合せ先

大阪市社会福祉研修・情報センター 〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20

☎06-4392-8201

☎06-4392-8272

🌐https://www.wel-osaka.com

✉kensyu@shakyo-osaka.jp

# 図書・資料閲覧室からのお知らせ

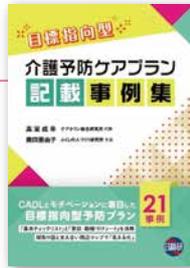
## 図書・DVD新着情報

### 図書紹介

#### 目標指向型 介護予防ケアプラン記載事例集

高室 成幸 ほか 著  
日総研出版 2024年

本人らしさとCADL(文化的日常生活活動・行為)とモチベーションに着目した、目標指向型介護予防ケアプランの事例集。新「課題分析標準項目」(令和5年10月)に対応!



#### 福祉施設・事業所のためのリスクマネジメント

全国社会福祉法人経営者協議会 編  
全国社会福祉協議会 2024年

リスクマネージャーの設置義務化に対応!事故発生率を0(ゼロ)に近づけるために必要なことは、「仕組み化」。組織として、いかに体制を構築するか。すべての介護・福祉・保育関係者が取り組むべきリスクマネジメントのポイントを、わかりやすく解説。



#### パラスポーツ事典 夏・冬のスポーツ28競技のルールと 見どころがわかる!(ジュニアコツがわかる本)

高橋 明 監修  
メイツユニバーサルコンテンツ 2024年

夏季大会22競技&冬季大会6競技の魅力や特徴について、写真とイラストでわかりやすく解説。



#### パラリンピックと共生社会 2020東京大会のレガシーとは何か

久田 満 編著 明石書店 2024年

リハビリテーション、歴史、難民、地域社会など、障害者とスポーツの関わりを多面的に解説。



### DVD紹介

#### 〈速習〉仕事の基本とビジネスマナー Disc3~コンプライアンス・ハラスメント

PHP研究所 60分 2023年

コンプライアンス・ハラスメント防止のための基礎知識を7つの事例ドラマをもとに解説!【収録内容】●コンプライアンスとは何か 1:会社のものを私的に使う 2:情報の持ち出し 3:SNS・ネットでの誹謗中傷 4:イラストを勝手に利用する ●ハラスメントのない職場づくりのために 1:パワハラ 2:セクハラ 3:マタハラ・パタハラ



#### 手話で楽しむ絵本

偕成社 53分 2020年

絵本の場面の絵と文章をあわせてのものを、手話で見るとわかりやすいように伝える。声で読むバージョン、また手話で読むときに字幕が入ったバージョンも選べ、聞こえる人も聞こえない人も、繰り返しいろいろな楽しみ方のできるDVD。【収録作品】『ノンタン がんばるもん』『ともだちや』『しゅわしゅわ村のおいしいものなーに?』



#### 体操しようよ

ハピネット 109分 2019年

妻に先立たれて18年、娘と二人三脚で家庭を営んできた道太郎だったが、定年退職後、娘から突然、家事全般を任されてしまう。ある日地元のラジオ体操会に参加したことで人生の風向きがかわっていく。定年お父さんが「はじめての家事」と「地域デビュー」に大奮闘!笑って泣いて幸せになる感動作!



募集!!

### あなたの周りに眠っている古本はありませんか?

8月に開催する「リサイクルブックフェア」の古本を募集しています!

- 本、絵本、マンガなどジャンルは問いません。何冊でもOK!
- 読めないほど傷んだ本の寄贈はご遠慮ください。
- 寄贈していただいた本は返却できません。
- 募集締切/8月16日(金)
- 受付場所/大阪市社会福祉研修・情報センター 1階 事務所/2階 図書室



### リサイクルブックフェア

「リサイクルブックコーナー」の古本を無料でお持ち帰りいただけます!

- 開催場所/1階 エントランス
- 開催期間/8月17日(土)10:00~30日(金)15:00まで

### 毎週金曜日の開館時間を午後7時まで延長しています。ぜひご利用ください!

大阪市社会福祉研修・情報センター2階の図書・資料閲覧室では、福祉に関する図書・DVD・ビデオなどを、無料で貸出しております。(認知症、介護技術、手話のDVDや、福祉の関係の雑誌などが充実しています。)



開室時間/月曜日~木曜日・土曜日 9:30~17:00、金曜日 9:30~19:00

貸出期間/2週間(図書・雑誌等は5冊、DVD・ビデオは5本まで)

利用資格/貸出し期間(2週間)内に、来館しての返却が可能なの方

※郵送での返却はできません

※初回の登録時には、住所・名前などの証明ができる本人確認書類(免許証・保険証など)をご持参ください

休室日/日曜日・祝日(土曜日は除く)・年末年始

問合せ先/☎06-4392-8233 お電話で図書・DVDの予約も承ります



# 生活習慣病予防のため 特定健診を受けましょう！

大阪市国民健康保険では高血圧症や糖尿病などの生活習慣病の予防や早期発見のため、特定健診を実施しています。

私たちの健康をおびやかす、心臓病や脳卒中、糖尿病などの生活習慣病は、ほとんど気がつかないうちに進行するので、身体の状態を確認するために毎年の健診が欠かせません。毎年健診を受け検査値の変化を見ていくことで、しのび寄る生活習慣病に気づき、早めに対応できるのです。



対象となる方には「受診券」をお送りしていますので、ぜひ特定健診を受けましょう！

対象者	40歳以上の大阪市国民健康保険被保険者 (来年の3月31日までに40歳になる方を含みます)
受診場所	① 府内取扱医療機関 ② 各区保健福祉センターや地域の小学校等の集団健診会場
検査内容 (基本的な項目)	身長・体重・腹囲・診察・血圧測定・血液検査(脂質・肝機能・ 血糖・腎機能)・尿検査
費用	無料
必要な物	受診券・保険証*・個人票

- \*マイナンバーカードの利用の可否については、予約時に各医療機関へご確認ください。
- \*受診券がお手元に届いていない場合や紛失された場合は、お住まいの区役所の保険年金業務担当窓口で再発行できます。
- \*75歳以上の方は、後期高齢者医療健康診査を受けましょう。

問合せ ▶ 大阪市福祉局保険年金課(保健事業グループ)  
☎06-6208-9876 ☎06-6202-4156

## 今月の自助具／軽量グリップ付スプーン・フォーク

主な適応疾患・対象者 ▶ 握力が弱くスプーンやフォークの細い柄が握れない人

### 《機能・特徴》

- 先端部のスプーン・フォークはチタン製の素材で作られ、グリップ部はカーボン素材で成形され、重さは20gほどで軽い
- グリップ部は使う人の手のサイズに合わせて成形できる

### 《使い方》

- グリップ部を握って普通のスプーン・フォークと同じように使うことができる



資料提供・問合せ ▶ 特定非営利活動法人 自助具の部屋  
☎☎06-4981-8492(月・水・金 10:00～15:00)  
NPO自助具の部屋ホームページ▶



## 健康生活 応援グッズ

入浴を安全快適に

浴室に調和するデザインとお手入れ性能を追求



### ●ユクリアAirプレミアム

どんな浴室にも調和しやすい上質感のあるカラー・デザイン。軽量かつ省スペース、防かび・防汚加工のダブルバリアでお手入れがよりラクになりました。

片手でひらいて、たたむができる、折りたたみシャワーチェア



### ●湯チェア23

背パッド裏側の折りたたみレバーを握りながら、本体を引き倒すだけで、かがみず楽な姿勢で折りたたみができます。肘掛けは、はね上げ式で肘下に障害物がないので、横移乗が楽に行えます。座り心地のいいシートは、取り外して洗えます。

円背の方も安心して座れる低い背もたれ



### ●折りたたみシャワーベンチ ISフィット (「骨盤サポート」タイプ)

低い背もたれが、背骨の凸部に当たらず、痛くありません。痛くないからしっかり座れます。円背の方に多い後傾してしまう骨盤をしっかりホールド。座位が安定して立ち上がりもスムーズです。

問合せ

公益社団法人関西シルバーサービス協会  
介護情報・研修センター福祉用具展示場  
〒542-0012 大阪市中央区谷町7-4-15  
大阪府社会福祉会館1階

☎☎06-6763-1480  
☎https://kansil.jp

# 大阪市内の福祉活動の実践報告 『福祉の今を知る!』

～同心会社会福祉研究受賞論文より～

令和6年9月9日(月) 13:30～16:00(受付13:00～13:30)  
会場／大阪市社会福祉研修・情報センター5階大会議室  
大阪市西成区出城2-5-20 申込締切／8月25日(日)  
定員／50名(応募多数の場合は抽選) ※受講決定通知は8月下旬に発送



参加費無料  
要申込

来場記念  
大阪市社会福祉研究  
第46号  
おひとり1冊プレゼント

第1部 基調講演 13:35～14:45

## 今井紀明が挑む! 社会課題の解決へ ～グリ下に集まる若者の現状から～

講師／認定NPO法人 DXP 理事長 今井 紀明



【プロフィール】1985年札幌生まれ。立命館アジア太平洋大学 (APU) 卒。神戸在住、ステップファザー。高校生のとき、イラクの子どものために医療支援NGOを設立。その活動のために、当時、紛争地域だったイラクへ渡航。その際、現地の武装勢力に人質として拘束され、帰国後「自己責任」の言葉のもと日本社会から大きなパッシングを受ける。結果、対人恐怖症になるも、大学進学後友人らに支えられ復帰。偶然、中退・不登校を経験した10代と出会う。親や先生から否定された経験を持つ彼らと自身のパッシングされた経験が重なり、2012年にNPO法人DXPを設立。

第2部 実践報告 14:50～16:00

## 大阪市内の福祉活動の実践報告

実践報告コーディネーター・まとめ  
国際医療福祉大学大学院教授  
大阪市立大学名誉教授 白澤 政和

テーマ

- ①「大阪市西成区社会福祉協議会におけるニーズ収集方法の再検討について」
- ②「住之江区における福祉の視点からみた防災の取り組み～SAlive(さらいぶ)実行委員会の活動報告～」
- ③「中央区地域福祉ビジョンにおける、やさしい日本語版と多言語版の作成について」

同心会は、大阪における社会福祉に関する研究および実践活動の奨励を目的として、昭和58年12月に岡村重夫氏を会長として発足しました。会では、研究誌「大阪市社会福祉研究」に掲載された「研究論文」から、優秀作品を選び「研究奨励賞」等を授与しています。

主催・お問合せ・申込先 ▶ 大阪市社会福祉研修・情報センター  
☎06-4392-8201 FAX06-4392-8272

ウェルおおさか

チラシが作りたい  
パンフレットが作りたい  
カタログが作りたい  
…でも、どうやって作ったらいいの

それ、アド・エモンに  
おまかせください

納得のご予算で

企画から取材・撮影・デザイン・  
印刷・納品にいたるまで、あなたのイメージを  
トータルでカタチにします。  
下記まで気軽にご相談ください。

TOTAL CREATION  
**AD.EMON**  
株式会社 アド・エモン

〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目北1-23 丸丹ビル306号  
TEL:(06)6358-1010 FAX:(06)6358-1011 E-mail:info@ad-emon.com  
<http://www.ad-emon.com>

(広告)

## 大阪市 社会福祉研修・情報センター

X (旧Twitter) を  
チェック!

研修の告知・研修のレポート報告  
普段のスタッフの様子、知って得する豆知識など  
さまざまな情報を発信します!!

[https://twitter.com/wel\\_osaka](https://twitter.com/wel_osaka)



フォローお願いします!!

# CENTER INFORMATION

## 大阪市社会福祉研修・情報センターのご案内

開館時間 / 9:00～21:00まで(土・日曜日は9:00～17:00まで)

図書・資料閲覧室は9:30～17:00まで(月～土曜日) ※毎週金曜日19:00まで

休館日 / 国民の祝日(土・日曜日と重なる場合は除く)、年末年始(12月29日～翌1月3日)

項目	直通電話番号	お問合せ時間
会議室など利用の問合せ	06-4392-8200	9:00～21:00(土・日曜日は17:00まで) (会議室の申込・お支払いは9:30～17:00)
研修関係の問合せ	06-4392-8201	9:00～17:00
図書・資料閲覧室の問合せ	06-4392-8233	9:00～17:00

### 貸室ご利用の皆様へ

貸室予約がオンラインで24時間パソコンやスマートフォンから可能となりました。

ホームページの【貸室のご案内】よりログインし、ご予約ください。  
初めてご利用される方は、事前にお問合せください。

ウェルおおさか  検索

#### 利用申込の受付は6か月前からです。

利用日の6か月前(6か月前の同じ日)から、インターネットでの予約、または電話や窓口でご確認のうえ所定の用紙でお申込みください。

電話や窓口での受付は、9:30から17:00まで。

☎06-4392-8200 FAX06-4392-8206

※インターネットでの予約可能な期間は、利用日の6か月前から利用日の1週間前までです。

FAXでの申込み可能な期間は、利用日の6か月前の9:30～利用日の3日前までです。  
詳しくは、ホームページの【貸室のご案内】をご覧ください。



#### 会議室等の使用料

利用できる貸室および料金は、次のとおりです。ご予約は利用日の6か月前からです。

(単位:円)

室区分	利用人員のめやす	時間区分	午前	午後	夜間	全日
			9:30～12:30	13:00～17:00	18:00～21:00	9:30～21:00
4階	会議室	99	3,800	5,100	3,800	11,400
	会議室 東	45	1,900	2,600	1,900	5,800
	会議室 西	54	2,900	3,800	2,900	8,600
	介護実習室	36	5,700	7,600	5,700	17,100
	演習室	18	1,000	1,300	1,000	3,000
5階	大会議室	144	5,800	7,700	5,800	17,400

交通 / ご来所には【大阪シティバス】【JR】【大阪メトロ】をご利用ください

#### ●大阪シティバス

【長橋二丁目】バス停すぐ  
52系統(なんば～あべの橋)

【中開三丁目】バス停徒歩5分  
80系統(鶴町四丁目～あべの橋)

#### ●JR大阪環状線・大和路線

【今宮】駅から徒歩約10分

#### ●大阪メトロ・四つ橋線・御堂筋線

【花園町】駅(①・②出口)から徒歩約15分

【大国町】駅(⑤出口)から徒歩約15分

所在地 / 〒557-0024 大阪市西成区出城2丁目5番20号

設置主体 / 大阪市

運営主体 / (指定管理者)  
社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

電話 / ☎06-4392-8200 (代表)

ファックス / FAX06-4392-8206

URL / https://www.wel-osaka.com

Facebookもチェック



X(旧Twitter)もチェック



「ウェルおおさか」に  
広告を掲載しませんか

詳しくはお問合せください…

大阪市社会福祉研修・情報センター

☎06-4392-8201

FAX06-4392-8272

✉kensyu@shakyo-osaka.jp



人権啓発キャッチコピー

【テーマ】障がいのある人をめぐる人権

認め合い まずは心の バリアフリー

あさの ともこ 浅野 智子さん(令和5年度「人権に関する作品募集事業」キャッチコピー 一般の部 特別奨励賞)